

官報 第 5045 号
18年11月5日

結了
11月

18年11月2日
三葉 537 號
貯業 5 號
發 校 淨
送 合 請

結了
公文書

公報掲載
18年11月5日
第 2 號

局長

課長

係長

案ノ一 (告示)

通信院告示第七號

大正十四年十月通信有業第千五百十二號 帝國ト外國郵便爲
替ヲ交換スル国等ヲ示ス表中 中華民國ノ項第一欄
「關東面管内ヲ除ク」ヲ「蒙疆ヲ除ク」ニ改メ、第九欄ニ

めくれず

結了
11. 6

結了

18年10月29日

三業529號

貯業 17號

發送 校合 印書

11. 5

大臣 總務

次官

文書課長 備田

黒表ニ日華電信爲替及小爲替交換ニ関スル件

日華電信爲替及小爲替交換協定
修正ニ関スル件
供覽

局長 課長

電務

貯金

外信

資金

業務

東金

決済

三業

文
18.11. 4

4030
771
11. 6

NO. 374
18.11.30

正方華北郵政總局ニ對シ提案中ノ処今般別紙ノ通
異議ナキ旨電答ト共ニ華北側ニ於テ徴收スル料金通報
越セルニ付

供高覽

参考 兩國ノ新お替料ヲ對照スレハ左ノ如シ

	小為替			電信為替			為替種類
	百円迄	五十円迄	二十円迄	千円迄	五百円迄	三百円迄	為替金銀
	三十銭	二十銭	十銭	七円	五円五十銭	四円	日本例料金
	八十銭	六十銭	三十銭	六円五十銭 (同支州迄)	五円五十銭 (同支州迄)	四円 (同支州迄)	華北例料金
				七円五十銭 (其、他迄)	六円五十銭 (其、他迄)	五円 (其、他迄)	
						三円五十銭 (其、他迄)	
						二円五十銭 (同支州迄)	

裏面白紙

電報譯文
官報 北京西發信第926號 午後五時

貯金局長 殿
華北郵政總局局長

二十三日貴局報第24號 照會ノ件 異議ナシ

尚當方ニ於ケル料金ハ電信爲替ニ在リテハ

一 閏東州宛 二円五十錢、四円、五円五十錢、六円五十錢

二 其他宛 三月五十錢、五月、六月五十錢、七月五十錢

三 小お替目ニ在リテハ 三十錢、六十錢、八十錢ニレテ料金ニ

華北ノ回答

對スル爲替人金類ノ區切リハ貴方ニ同ジ

(実5紙)

裏面白紙

電報譯文

官報

北京西發信第九二七號

午後六時

貯金局長殿

華北郵政總局局長

華日爲替改正ニ関スル通達ノ徹底ヲ見ルニ至ル迄

當方ニ在リテハ仍從前ノ例ニ依リ処理スルモノアルベキニ付

右即該察ノ上貴方ニ承テモ可然取計アリタシ

本件ニ付テハ貴金課決清係ニ承テ可然處理スルコトニ趣



0.62

業務

二一
 リムムニ 一四四 べ キンニシ 九二六 コ六、〇
 チヨキンテ

五又リ



公

二三ヒニ四シロ、ス母、ナホトウホウニオケルレウキンハ、テ、ニ
 アリテハー、カントウシウアテニエ五〇セ、四エ、五エ五〇セ、六
 エ五〇セニ、ソノタアテ三エ五〇セ、五エ、六エ五〇セ、七エ五
 〇セ三、コ、ニアリテハ三〇セ、六〇セ、八〇セニシテレウキンニ
 タイスルカワセキンカクノクヤ
 コリハキホウサオナシ

裏面白紙

6363

葉書

ニ
〇
リム一〇四
ベ
キン
ニシ
九ニセ
コ六、〇
チヨキンテ

ニスリ

カニチカワセカイセイニカンスルツウタツ
ルマテ トウホウニアリテハナホシ
スルモノアルベ キニツキミヤ
モ、スニカホクユウソウテ
ウセ
ンノレイニヨリシヨリ
レイサツノウヘキホウニオイテ

コ〇、一
サ



裏面白紙

裏面白紙

電報譯文

北京西發信第九三三號

十月二十六日午後六時二十分

華北郵政總局儲匯課長 殿
貯金局業務課長

二十三日發貴局報第二十四號二回スル件華北郵政總局儲匯課長宛、當方異議ナキ

天内部手續ノ都合ヲ正式回答ハ二三日遅ル、見込ナリ

尚奉件ハ日本側各機関ニ承テ了解済ナリ

一先伏覽 課長

係長

正式回答ノ後テ去來並者ニ通報ノ見込 一八〇、三七

裏面白紙

一
イリ 九八 べ キンニシ 九三ニ ヒニ 五六コホ、ニ〇 公
ケチヨウムン 五



ニ三ヒニ四シロ、トウホウエヤ ナキモナイア テツツ キノツコ
ニ
ウキヨリセイシキカイトウハニ、三ヒオクルルミコミ、ナホホンケ
ンハニホンカ ワカクキカシニオイテレウカイズ ミナリナホク
コウセイチヨワイテ

セー〇、四四

結了
電話

乙

未結了

18年10月22日

三葉 516 號

貯葉 1713 號

發 送 檢 査 簿 書

大臣

次官

伺

昭和
19
10.23

日華電信爲替及小爲替交換協定
修正ニ關スル件

局長

課長

經理

豫算

業務

三葉

電務

外信

東亞

貯金

出納

印

印

印

印

印

印

今次内國郵便爲替業務ノ改正ニ伴ヒ日華電信爲替及小爲替業務ニ付
テモ同様ノ改正ヲ實施スル爲日華電信爲替及小爲替ニ關スル協定ヲ
修正スル要アリ左案ノ通華北郵政廳ニ提案方取計可然哉

仰高裁

第 二 四 號
一 〇 月 二 三 日
一 九 三 五 年

電報案 (至急局報)

年 月 日

中華民國華北郵政總局局長宛

日本國貯金局長

下打合ニ基キ日華電信爲替及小爲替交換ニ關スル協定中左ノ通_修正シ

十一月一日ヨリ實施シタシ貴見至急御回報ヲ乞フ

一 爲替一口ノ最高額ハ電信爲替ニ在リテハ日本國通貨千圓、小爲替

ニ在リテハ同百圓トシ小爲替ノ金額ニ八十錢未滿ノ端數ヲ附シ得

二十圓迄	十	錢、
五十圓迄	二十	錢、
百圓迄	三十	錢ナリ

ザルコト、

ニ 電信爲替及小爲替ノ料金ハ各郵政廳決定シ相互ニ通知スルコト、
 追テ當方ニ於ケル料金ハ電信爲替ニ在リテハ

百圓迄	二圓五十錢、
三百圓迄	四圓、
五百圓迄	五圓五十錢、
千圓迄	七圓、

小爲替ニ在リテハ

(共8紙)

裏面白紙

修正及決定事項並ニ理由

事	項	理	由
一、爲替最高額ノ引上及端 敷金額ノ制限 (修正)		内國郵便爲替ニ於ケル改正ト一致セシム (郵便法第24条ノ三條新舊對照表ニ依ル)	
二、華北トノ電信爲替及小 爲替ノ料金ヲ各廳ノ通 知事項トス (修正)		合理的ニシテ且實狀ニ合致ス	
三、日華電信爲替料 (決定)		本邦側改正料金ノ根據ハ別紙ノ通	
四、日華小爲替料 (決定)		本邦側改正料金ハ改正内國小爲替料ト一 致セシム (郵便法第24条ノ三條新舊對照表ニ依ル)	

修正理由

本邦（露東州）
（ラ含ム）
振出
露州
中華
民國
宛
電信
為
料
金
案

振 宛 地	金 額			段 階
	一 〇 〇 〇	三 〇 〇 〇	五 〇 〇 〇	
滿 洲 國	一、五〇	三、〇〇	四、五〇	六〇〇
中 華 民 國 （香港ヲ含ム）	二、五〇	四、〇〇	五、五〇	七〇〇
南 方 諸 地 域 （比島、ボルネオ、アンボイナ等）	七〇〇	八、五〇	一〇、〇〇	一、一、五〇

備
考

右料金算出方針

料金根拠

- 一、料金ハ私報ハ語分ノ電報料ヲ大体ノ基準トス
- 二、金額段階及料金ノ開キハ内國ノモノニ準ジ四段階及一圓五十錢トス
- 三、露州宛宛ノモノハ内地露東州間ノ改正料金ニ依リ、香港宛ノモノハ電報料方中華民国宛ノモノヨリ高額ナルニ地境的ニ見テ中華民國ニ統合シ、南方諸地域宛ノモノニ付テハ地境別ノ三種ノ電報料ノ平均タル八十錢ヲ基準トス
- 三、華北宛ノモノハ私報ハ語分ハ一円六十錢ナルガ之ニ平均為替料タル七十二錢ヲ加ヘ、電信為替料トシテ二円三十二錢ヲ得ル処之加端數ヲ整理シテ二円五十錢トシ、人全体トシテ減収ヲ手サハル様之ヲ一段階タル百円迄ノ料金定ムルモノトス

郵便爲替規則中新舊對照

第二條	郵便爲替證書一枚ノ金額制限ハ別ニ定ムルモノヲ除キ外左ノ如シ
一	通常爲替 金五百圓 一圓以上千圓以下
一	電信爲替 金五百圓 一圓以上千圓以下
一	小爲替 金五十圓 一圓以上百圓以下
	通常爲替及小爲替ノ金額ニハ十錢位未滿、電信爲替ノ金額ニハ一圓位未滿ノ端數ヲ附スルコトヲ得ズ
第三條	郵便爲替證書一枚ノ爲替料ハ別ニ定ムルモノヲ除キ外左ノ如シ
一	通常爲替 二十五錢
一	五十圓迄 二十五錢
一	百圓迄 三十五錢

内因爲替改正

百五十圓迄	四十五錢
二百圓迄	五十五錢
二百五十圓迄	六十五錢
三百圓迄	七十五錢
三百五十圓迄	八十五錢
四百圓迄	九十五錢
四百五十圓迄	一圓五錢
五百圓迄	一圓十五錢
千圓迄	二圓
電信爲替	
イ 内地間ノモノ、内地ト朝鮮、臺灣及南洋群島間ノモノ	
二十圓迄	六十五錢
五十圓迄	八十五錢
百圓迄	一圓五錢
百五十圓迄	一圓十五錢

(共六款)

二百圓迄	一圓四十五錢
二百五十圓迄	一圓六十五錢
三百圓迄	一圓八十五錢
三百五十圓迄	二圓五錢
四百圓迄	二圓二十五錢
四百五十圓迄	二圓四十五錢
五百圓迄	二圓六十五錢
千圓迄	四圓八十錢
内地ト朝鮮、臺灣及南洋群島間ノモノ	
二十圓迄	八十五錢
五十圓迄	一圓十錢
百圓迄	一圓四十錢
百五十圓迄	一圓七十錢
二百圓迄	二圓
二百五十圓迄	二圓三十錢

○日華電信爲替交換協定中新舊對照

一	電信爲替ノ金額ハ日本國通貨円ヲ以テ之ヲ表示スルコト	
	北支郵政總ハ電信爲替ノ北支通貨ニ依ル受拂ニ付通用スベキ日本國通貨ト北支通貨トノ換算割合ヲ定ムルコト	
二	電信爲替一口ノ最高額ハ日本國通貨五百千円トスルコト	
	電信爲替ノ金額ニハ円位未満ノ端數ヲ附スルコトヲ得ザルコト	
三	電信爲替一口ノ爲替料ハ左ノ通トスルコト各郵政總決定シ相互ニ之ヲ通知スルコト	
(一)	日本内地、朝鮮、臺灣及南洋群島ニ在ル郵便局ト北支郵便局トノ間ニ取組ムモノ	
	五十円(元)迄	二円二十五錢(二元二角五分)
	百円(元)迄	二円五十錢(二元五角)
	二百円(元)迄	三円(三元)
	三百円(元)迄	三円五十錢(三元五角)

協定對照書

四百円(元)迄	四	円(四元)
五百円(元)迄	四	円五十錢(四元五角)
出 關東州ニ在ル郵便局ト北支郵便局トノ間ニ取組ムモノ		
五十円(元)迄	一	円七十五錢(一元七角五分)
百 円(元)迄	二	円(二元)
二百円(元)迄	二	円五十錢(二元五角)
三百円(元)迄	三	円(三元)
四百円(元)迄	三	円五十錢(三元五角)
五百円(元)迄	四	円(四元)
四乃至六(省略)		
七 其ノ他ニ付テハ日本滿洲洲内電信局替ノ例ニ依ルコト		

○日華小為替交換協定中新舊對照

一 為替金額ノ表示
小為替ノ金額ハ日本國通貨(圓)及(錢)ヲ以テ之ヲ表示スルコト
華北郵政廳ハ小為替ノ華北通貨ニ依ル受拂ニ付通用スベキ日本國通貨ト華北通貨トノ換算割合ヲ定ムルコト
二 為替金額ノ制限
小為替一口ノ最高金額ハ日本國通貨五十圓トスルコト
小為替ノ金額ニハ錢位十圓未満ノ端數ヲ附スルコトヲ得ザルコト
三 料金
小為替一口ノ為替料ハ左ノ通りナルコト各郵政廳決定シ相互ニ之ヲ通知スルコト
四 日本國振出ノモノ
五 匯 送
五 匯 送

二十	圓迄	十	錢
三十五	圓迄	十五	錢
五十	圓迄	二十	錢
中 華 北 振 出 ノ モ			
五	圓迄	五	分
十	圓迄	一	角
二十	圓迄	一	角五分
三十	圓迄	二	角
四十	圓迄	二	角五分
四十	圓ヲ超スルモノ	三	角
四乃至九及一一(省略)			
一〇 其ノ他			
其ノ他ニ付テハ日本國滿洲國間郵便小為券ノ例ニ依ルコト			

(表六)

改正料金ニ依ル増△減収調書

日華電信爲替

金額階級	取扱口數	現行料金	全上料金收入	改正料金	全上料金收入	料金收入増△減	備考
500 圓迄	234	225 錢	2799900 圓錢	250 錢	311000 圓錢	311000 圓錢	取扱口數欄上部 数字ハ金額階 級別口數ノ十分 比ヲ示ス
100	340	250	4520500	250	4520500	—	
100	397	300	6333900	400	8445200	2111300	
200	15	350	579300	500	319200	39900	
300	3	400	60000	550	88000	28000	
400	4	450	958500	—	117150	21300	
500	—	500	—	—	—	—	
600	—	600	—	—	—	—	
700	—	700	—	—	—	—	
800	—	800	—	—	—	—	
900	—	850	—	—	—	—	
1000	6	900	286200	—	22600	△63600	
計	1000	53181	14422050	—	16860750	2438700	—

計

(二) 日華小爲替

金額階級	取扱口數	現行料金	全上料金收入	改正料金	全上料金收入	料金收入増△減	備考
圓	172	圓	圓	圓	圓	圓	
圓	448	圓	圓	圓	圓	圓	
圓	109	圓	圓	圓	圓	圓	
圓	107	圓	圓	圓	圓	圓	
圓	5	圓	圓	圓	圓	圓	
圓	16	圓	圓	圓	圓	圓	
圓	5	圓	圓	圓	圓	圓	
圓	138	圓	圓	圓	圓	圓	
計	1000	圓	圓	圓	圓	圓	

送

18年10月21日		
號		
號		
發	校	淨
送	合	書

報局區設	
八	九
十	五
月	日
分	時

華北トシ電信有智の才の事ニ事ニ件
田舎

案ノ一

華北郵政總局 儲匯局長 范
日軍國貯金局 普承局長

昨日發券九二六號貴局報ニ對シニ回答一兩日中ニ

電報ニ對シ正式提議ノ見込

案ノ二

ハキニテウツウ
郵政總局借匯
水田三景局長
須田園路局長宛

昨日^{サウ}九^{九二七}報^レ局長宛^ニ野之田^宛、局長報^レ七^九報^レ

并、正式提議ノ内容ハ前引上、諸君制限ノ料令

相互決定通知ニテ下打令ノ通りナリ、^{華北}電信^局宛料令

百田迄二月廿八、三百田迄四月、五百田迄五月廿八、千田迄七月、千田迄

料令ハ内閣事務^局同、政行日陽事務協定ハ別途郵送ス

一、^{華北}電信^局宛
料令ノ入レ

（其ノ他）
料令ノ入レ

裏面白紙

セ
リム 二四 ベキニシ

九ニ六 ヒニ〇



チヨキシキヨクガ ウムカテウ
大ヒハナ、セイシキテイアントリハコビ モヨウシツ

六日登きろる事ある報 正式提言の白運積の格を以て回報

セ九、〇、サ

業務 6136

リム 八五
四五
ヘ^北キン^西ニシ^智九^七ニ^七コ^五五^二ニ^〇

トウケウシチヨキンキヨク
ゲ ウムカレ
三 ツ タダ イ三ゲ イムカカサテ

五ヒシロ、イギ ナシセイシキテイアンニツイテハキヨクギ
マトメカタ^{ハセ}ナホケ^{ナホ}ンコウニチマン^ウムケウテイ^イツ
シリヘキウソウワヨコフ^スダ コクサイカワセカムテウ
アオイテウム又
ハキヨク
イ
ツ
コ
〇
、
一
〇
ノ



裏面白紙

21 冊 710

54

書報誌文

官報第九〇三號

一八年一月八日

前

時五分

電信局北支西

一月八日

后

七時四二分

本邦郵政此由郵政省事務司關係、件

日本郵政總局

一區長 出

行全内業務課長殿

七日貴局報中十五号ノ答、差支トシ、尚揚答

右答ハ事務課
字宛期日 三付

業務ニ付テハ南係規定ノ受入ヲ俟テテ 回答ス

一先 供覽

課長 三首

一〇九

1455
1456
1457
1458
1459
1460
1461
1462
1463
1464
1465
1466
1467
1468
1469
1470
1471
1472
1473
1474
1475
1476
1477
1478
1479
1480
1481
1482
1483
1484
1485
1486
1487
1488
1489
1490
1491
1492
1493
1494
1495
1496
1497
1498
1499
1500

18年10月5日

號

號

發送	校合	淨書
----	----	----

發行	社
十月十六日	第十四号
十月十六日	十月十六日

局長

課長

（印）

（印）

（印）

郵便為替及郵便振替取扱事務簡素化ニ關スル件

案ノ一

電報

日本國貯金局業務課長

滿洲國郵政總局

備金保險處長宛

二日發費局報第二號關聯、爲替、振替ノ國內規定、業務協定等新舊

ホシヒロシシハ

トリ、

對照本日書留航空便ニテ發送セリ、貴見電報ヲ以テ回答セフ、本件

ハ國內同様十一月一日ヨリ實施シタシ、尙業務協定第五十三條ノ修

正ハ九月十三日附貯資第三六五二號ニ基クモノナリ爲念

案ノ二

ナヨキンケラウイテイ
日本國貯金局業務課長

ペキンニウツウ
華北郵政總局

儲匯處長宛

九ヶニ〇ヒ

三八ハ

九月三十日發當局報第三八號關聯日滿業務協定修正案本日郵送ス、本

件ハ國內同様十一月一日ヨリ實施シタシ、尙振替業務ニ付テモ同時ニ

同様ノ簡素化ヲ爲スコトトナリ、關係國內規定等別途郵送ス

案ノ三

日本國貯金局業務課長

テウカコウ
蒙古聯合自治政府

交通總局郵電科長宛

八月二十四日附交總郵發第九六八號關聯、本件ハ國內同様十一月一日

ヨリ實施シタシ、關係國內規定、日滿業務協定修正案等別途郵送ス

ス

ス

(表 8 部)

未了

18年9月30日

郵便
検査
送付

郵便局
九月二十八日
五時五分

局長

課長

係長
三
二

郵便局事務面奉化二周之件

電報

財令局事務局長

北郵政總局
船一區局長宛

一六七

二〇

十六日附函字第一〇三第南縣、一端教訓

却内

限ノ引上ハ管理上便宜取扱局ニ付テハ計理事務

ノ便宜ノ為ニ、小倉等ノ特別取扱廢止ハ保証

人調査ニ要スル手数軽減ト共ニ、
 書ノ書及及排法方法改正(要綱四ノ二(イ))ニ伴ヒ
 起リ得ベキ重複排防止ノ爲、三、排法前通知
 等ノ停止ハ専ラ事務簡便化ノ方ナルモ、此等取
 扱ハ利用少キノミナラズ、蒙雨庭ハ同意消テ
 尚係モアリ、当方第一歩同意ヲ得、尚料
 令各^{郵政}庭ニ於テ別ニ決定シ通知事取ト

昭和197年

(第5頁)

政友、省令改正案等別送ス、
 又
 又
 又

業務

9.月27日

貯業1599

右ノ復

12

華北郵政總局儲匯處公函 儲函字第一〇三號 中華民國卅二年九月十六日

貯金局業務課長 殿

華北郵政總局

儲匯處 長

八月七日附貯業第一三八〇號ヲ以テ御來照ノ趣取承
中富總關係事項ニ對スル私見左記ノ通ニ付御承相成度候

記

敬白

一 爲替金制限額改正
最高制限額引上ニ付テハ異議ナキモ端數制限ニ付テハ取引ノ實際
上現行ヲ可トスルモノト思科セラレ且貴案ノ通り改正スルモ格別
負擔ノ軽減ヲ招來シ得サルモノト認メラルルニ付(富局調査ニ依

貯業
三第467號
18年12月

裏面白紙

郵政總局

レバ端數ヲ有スルモノハ振出數ノ五分程度一規行通リト致度

料金改正

富總ニ於テハ尋常料金ヲ左ノ通り改正スベク目下編採ノ向ト折衝
中ナル處貴我兩案ノ間ニハ相當ノ懸隔アリ兩者ノ孰一ハ至難ト認
メラルルニ付尙來示ノ料金中ハ貴總開辦中ノモノニ限リ適用ス
コトトシ富總振出ノモノニ對スル料金率ハ別途協定スルコトト

致度

◎料金改正案

小為替	十圓迄	二〇
	三十圓迄	四〇
	五十圓迄	六〇
電信為替	五十圓迄	七〇
	百圓迄	一〇〇

郵政總局

二百圓迄	一、七〇
三百圓迄	二、二〇
四百圓迄	二、七〇
五百圓迄	三、二〇

電報料金ヲ含マサルニ付電報料加算ノ場合ハ端
 數整理上多少變動アルモノトス尙電報料ハ今般
 引上ニ伴ヒ内地向二圓七十錢關東州向一圓八十
 錢トナル見込

取扱ノ廢止及制限

- 1. 取扱ノ廢止ニ付テハ異議ナシ
- 2. 小寫替ノ特別取扱ニ關シテハ寫替證書亡失ニ因ル再度證書請
 求ノ例モ有之現行ノ儘ト致度但シ保證人前ノ運用ノ簡易化ニ
 付テハ別途考究ノ要アルベシ
- 3. 佛國海通知等ノ取扱ニ關シテハ手續ヲ簡易化シタル上存積セ
 シメ度
由ト
 存積
 〇ノ
- 4. 事務簡易化
- 5. 佛國局變更手續ノ改正ニ付テハ異議ナシ

- ✓2 内度證書發行手續ノ改正ニ付テハ、異議方シ
- ✓3 爲替證書様式改正ニ付テハ、現行通りト致度

郵政總局

裏面白紙

64

未了

1899年9月1日
三第113

種別
校名
部名

課長
三第

課長
三第

課長
三第

郵便局事務若而素化ニ関スル件

電報

此令局事務課長

華北郵政總局
儲匯局長宛

昨日貴報九〇九号、谷、最低制限ヲ

一月ニ改メ又小高キ及通常有各ノ金額ニハ十銖

位未括ノ端致ヲ附シ得カントトス

十銖トシテハ誤也

裏面白紙

官報論文

官報第九〇九

一八年八月三一日

后前

一時一五分發

每信局此京子

八月三一日

后九時五分發

寄此郵政總局

係匯長

出

財令局業務課長 殿

八月七日財令第一三八〇号照会ノ件、要旨

一項中（最低利限十厘）ヨリ（同三）迄、文言

脱落ニ存シ、再敬之フ

מגדל המגן ירושלים

לשם
השקט
הנפש

הנהגת
הממשלה
בירושלים
ביום
השבת
השני
לחודש
אלול
השנת
תש"ח

(13)